

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月22日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697000034
法人名	医療法人 坂元内科クリニック
事業所名	グループホーム すまいる
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉8355番地2 (電話) 099-471-7250
自己評価作成日	平成29年2月10日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「すまいる」の名称にあるように日々の生活が明るい笑顔で入居者も職員も過ごすことが出来るように援助しています。クリニックと隣接している点を活かし体調管理を含め健康面でも安心していただけるケアを提供しています。入居者の方が穏やかに生活を送る場所としての役割を担えるよう敷地内の菜園で採れた作物を使って食事を提供したり、季節の行事や食事などを提供しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月9日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、散歩や買い物の際に挨拶や会話を楽しんだり、野菜をもらったりしている。母体医療機関も隣接し、24時間医療連携体制が整い、利用者や家族の安心に繋がっている。
- ・代表者は地域に対する貢献度が高く、地域に根ざした医療や福祉に取り組んでいる。
- ・利用者が、その人らしい生活ができるように、農業経験を活かし、菜園での野菜づくりや収穫の作業など、個々の力量を活かしながら、穏やかな生活ができるように支援している。また彼岸には墓参の支援もしている。
- ・管理者は職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。職員は勤務年数も長く離職者も少ない。職員間のコミュニケーションも図られている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関や室内の目に付くところに理念を常に提示し自分達のケアの振り返りが出来るように努めている。	理念や基本方針があり、理念は玄関や事業所内に掲示し、職員会議等で振り返り、理念を共有し、地域の一員として実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に参加し、運営推進会議には地域代表者の方にも参加して頂き、双方の交流が出来る様に心がけている。	自治会に加入し、地域の総会にも出席している。中学生の職場体験学習やボランティアの受け入れなども行っている。食材などの買い物も地域の商店を利用して交流している。近隣の住民から野菜などの差し入れがあり、日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	中学生の職場体験などを積極的に受け入れを行っている。地域での認知症作業部会内でも、民生委員の方と協力し地域への認知症理解などに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的な会議の場で写真・資料に加え日常の事なども議題としてより具体的な取り組みが出来る場としてサービスに活かしている。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に定期的開催し、入居者状況や事業所の活動報告・ヒヤリハット・外部評価報告などを行い、意見交換している。そこでの意見で、避難訓練に地区の消防団への協力依頼を検討する等、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>地域の会議などにも積極的に参加し市町村担当者とも連携を図り、より良い協力関係を築けるよう取り組んでいる。</p>	<p>町担当者には、更新時や必要に応じて、電話や窓口に出向き相談や情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議への参加を通して協力関係もでき、町主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束禁止の宣言を玄関に提示し職員間でもヒヤリハット、事故などの対応の仕方を協議する際に身体拘束にあたらぬケアとして提供ができる様、確認している。</p>	<p>マニュアルに沿って勉強会を実施している。対象となる事例検討会などで職員の共有認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉による拘束についても日々確認し、配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	院内研修を繰り返し行い、虐待を見逃すことがないように虐待防止に取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度などについて学ぶ機会を設け、必要時は専門家への相談も含め対応を図っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には家族の方の理解度に合わせ十分な説明を行う。疑問点については細かく説明ができる様に努めている。後日の疑問や不安点などもその都度答えられるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱などを設置しているがそれ以外で家族からの話や要望などについてもその都度早急に改善や変更などの対応を行っている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や行事参加時、電話などが意見を聞く良い機会となっている。2ヶ月に1回「すまいる新聞」で近況報告を行い、返信もある。出された意見から、個々の墓参も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングだけではなく、その都度職員の意見や提案など行うなどしてお互いが話し合い反映させている。</p>	<p>管理者は毎月のミーティングや申し送り等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。出された意見で脱衣所にエアコンを設置したり、職員の働く意欲を高めている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職場の環境や給与の状況なども考慮され徐々に整備されている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修の参加を個人の能力にあわせ設定し、内容もスタッフ間で共有し、ケアスタッフ全体のスキルの向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大崎町内事業所間のネットワークにも参加し大隅グループホーム協議会にも加盟し交流を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービス利用前に訪問を行い、本人のお話を聞き意見や要望など汲み取れるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>申し込みを行う際の必要事項だけでなくご家族の心配事、ご意見などを聞くように心がけています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居の申し込みの際には本人やご家族の要望・希望などを聞き、適したサービスを提供できるようご本人へ対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で本人の意思を大切にし充実した生活を行って頂けるよう私達も共に共同生活の一員として感じてもらえるような関係作りを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族に面会などの協力も得ながらより良い関係を築けるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>自宅や近隣へのドライブ、墓参り、美容院への外出や訪問理容などを受けたりと関係性の維持を支援している。</p>	<p>利用者が地域との関わりを継続できるように、自宅や近隣へのドライブ、馴染みの店での買い物、理美容院利用、墓参などに出かけている。電話の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食などの際にも支援している。同敷地内のクリニック受診後に、親族や友人知人の面会も多く、一緒にお茶を飲んだりしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>座席を配慮し体操やレクリエーション、テレビ観賞などで利用者同士それぞれが関われる時間を作っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後なども必要に応じて状況を勘案し支援していくように努めます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で本人が表現される内容や本人の意思・希望を把握できるようにしている。	日々の関わりの中で声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努め、決めつけないように取り組んでいる。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報だけでなく本人、家族、普段の接触の中でスタッフが持ち得た情報を共有しこれまでの暮らしを理解できるようにする。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の状況や様子などを入居時と比べながら記録などから現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の写真入りのモニタリングを担当職員の行ったモニタリングを補足する形で作成し現状に即したプランを家族を含め関係者と話し合いながら作成する。	その人らしい日常生活ができるように、本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、担当者会議で話し合い、介護計画を作成している。1ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録には日々の様子やケアなどを分かりやすく記載し職員間で情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の要望などに出来るだけ沿えるように画一的でない個別の対応出来るように支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域代表の方にも参加して頂くようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時より当施設の施設長が主治医とし定期的な往診もあり健康管理も行われている。専門医の受診やこれまでの専門の主治医の受診については家族の意見も尊重しながら適切な医療が受けられるように支援している。	かかりつけ医は本人や家族の希望を聴きながら、適切な医療が受けられるようにしている。入居前から母体医療機関が主治医である。定期的な訪問診療と歯科は週1回の訪問診療である。他科受診は家族が同行している。緊急時の対応は連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。受診結果は家族と共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の生活の中で状況の変化等は看護師と共有しその都度受診し適切な医療を受けられている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院は入院先の相談員とよく相談し家族、本人の意思を踏まえて退院出来る関係作りを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>希望された利用者様については協力の契約を結んでいる。特別養護老人ホームへの、申し込みなど説明し当事業所での重度化にも対応できる事柄にも説明を行っている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に向けた説明を行い、事業所で対応し得るケアについて、同意書を貰っている。特別養護老人ホームへの申し込みなども説明している。家族の協力や事業所側の体制を整え、医療連携で状況変化に伴い、家族と方向性を共有している。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の事故発生等の訓練は今後も継続して行っていく。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練の実施は年2回行っており今後も行っていく。地域との協力体制も充実したものにしていきたい。</p>	<p>年2回消防署の指導の下、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置を設置し、隣接の母体医療機関との協力関係もできている。地域の代表者との協力もある。災害時の水や米・レトルト食品などの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの人格を大切に尊重し誇りやプライバシーを損なわない言葉掛けや1日を楽しく快適に過ごせるように努めている。</p>	<p>マニュアルに沿って、対人援助や倫理について、事例を出し研修会を行い、利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。排泄や入浴などでは羞恥心に対する配慮を行い支援に取り組んでいる。馴れ合いにならないようにも心がけている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日の生活の中で本人が自分の意思や希望を表現できる雰囲気作りを行い関係性を築くように努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの生活パターン・ペースを尊重し毎日を快適に過ごせるように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>服装は毎日の整容で整え本人の希望に沿うように支援している。また訪問理容などを利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事は一人ひとりの嗜好に合わせて季節ごとの食材を使用したり菜園の野菜を使ってバランスの取れた食事を提供できるように工夫している。</p>	<p>菜園の野菜を使ったり旬の食材で、利用者の嗜好に配慮した食事や形態を工夫している。ホットプレートでお好み焼きやたこ焼きなどを作って楽しんでいる。準備や調理・片付けを一緒に行ったりもしている。誕生日や行事食など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。体操や口腔ケアも力を入れている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事チェック表にて水分・食事を確認し一人ひとりに合わせた介助方法を工夫し支援を行っている。</p>	/	/
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアは一人ひとりの能力に応じた援助を行っている。義歯や残歯の状態・確認し定期的な歯科医の往診にてケアを行って頂いている。</p>	/	/
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を参考に一人ひとりの排泄パターン・回数などに基づき個々の能力を最大限に引き出せるように援助を行っている。</p>	<p>排泄リズムを把握し、必要に応じての声かけを行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。昼間はほとんどの利用者がパンツとパット使用である。改善がみられた事例がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや繊維質の食材を取り入れた食事の提供、水分を多く取って頂く工夫をして適度な運動などにも取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週三回入浴を行っている。入浴日以外では足浴をしたり清拭したりなど気持ち良さや清潔感を味わってもらっている。	入浴は基本的に週3回になっているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応し、いつでも入浴できるようにしている。足浴や清拭も行っている。入浴を拒む利用者には職員を交代して声かけをしたり、時間調整など職員間で連携して、無理強いはしないようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安心して休息できるように日々環境作りに努めている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心とした薬の説明、状態変化時、主治医の指示の元、記録として残し状況の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った出来る事を考え洗濯物やおしぼりたたみ、新聞を折ってゴミ箱作りなどにも参加していただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	家族の協力のもと、自宅への外出や墓参りを兼ね近隣へのドライブや季節に応じた花見などの支援の実施に努めている。	日常的に散歩したり、菜園に出かけたり、テラスで外気浴を楽しんでいる。利用者の希望による買い物や県下一周マラソンの見物などにも出かけている。計画を立てて彼岸に墓参の支援をしたり、地域の行事やドライブ・花見・遠足でイルカランドなどにも出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参にも出かけている。車椅子や重度の利用者も外出して気分転換ができるように取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお金の所持をされている方はいらっしゃらないが、今後必要性がある場合など家族の希望に応えられるよう支援してする。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	遠方の家族や大切な方々との繋がりを大事に自ら電話したり手紙のやり取りができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	光が入りやすいよう大きな間取りと木の温もり、四方から見渡せる広い居間作りになっている。	共用空間は、木造の暖かさや広いスペースで採光や換気・温度・湿度に配慮し明るい。壁には行事の写真や季節感を大事にした飾りつけがしてある。畳コーナーもあり、テレビの前にはゆったりしたソファが置かれ、居心地よく過ごせるような工夫がされている。台所も見える位置にあり、五感を刺激しやすいようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が共同空間内での関係性を第一に考え心穏やかに過ごせる居場所作りを心がけている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は過ごしやすさを重視しご家族との写真や贈り物、テレビなどを持ち込めるようなスペースを提供できるように工夫している。	居室はエアコンや洗面台・クローゼットが備え付けである。テレビや家具・寝具・写真など使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮してある。家族写真などもあり安心できるくつろげる部屋作りがされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	四季に合ったものを工夫しホール内に飾ったり置いたり目で見ても楽しめる空間作りを心がけている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない